

◆ ニコニコ箱

櫻井 康二さん

	ニコニコ箱	累計	目標
1月31日分	10,000	503,935	1,200,000

＊ビジター

井上 誠一様（小田原RC）…久しぶりにおじゃまいたします。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

山岸 功治様（小田原RC）…お世話になります。

川田 隆志様（小田原中RC）…お邪魔します。

＊Welcomeメッセージ

清 康夫さん…小田原RCの山岸さん、当卸団地副理事長井上さん、小田原法人会の副会長、本日は当クラブへようこそ。

＊その他

清 康夫さん…①1月7日 9時～10時迄、当社フジミ社員全員にて小田原城内の清掃を行いました。22年続けていますが、ゴミも段々減ってきております。

②二宮神社にて全員にて商売と社員の健康祈願をし、12時より3時迄新年会パーティをすることが出来ました。

守屋 善男さん…ロータリーの友情に感謝御礼を申し上げます。

辻村 彰秀さん…職業奉仕委員会 守屋委員長及び委員の方々、本日宜しくお願ひします。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2017年2月-

- ▶8日（水）小田原北
- ▶9日（木）小田原中 報徳会館 12：30
「卓話：」
- ▶10日（金）湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶10日（金）足柄 おんりーゆー 12：30
「卓話 担当：クラブ奉仕」
- ▶13日（月）小田原 報徳会館 12：30
「卓話：プログラム委員会」
- ▶14日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30
「55周年実行委員会」
- ▶15日（水）小田原北
- ▶16日（木）小田原中 特別休会
- ▶17日（金）湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶17日（金）足柄 おんりーゆー 12：30
「卓話 担当：会場監督」
- ▶20日（月）小田原 報徳会館 12：30
「クラブフォーラム⑨（国際奉仕委員会）」
- ▶21日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30
- ▶22日（水）小田原北
- ▶23日（木）小田原中 報徳会館 12：30
「クラブフォーラム⑩新会員セミナー報告」
- ▶24日（金）湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「出前講座③」
- ▶24日（金）足柄 おんりーゆー 12：30
「卓話 担当：職業奉仕」

◆ Table flower

- チューリップ
- マーガレット
- スプレーカーネーション
- キャンディタフト



【花言葉】
 チューリップ：「思いやり」
 マーガレット：「信頼」
 スプレーカーネーション：「情熱」
 キャンディタフト：「心をひきつける」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：http://www.odawarajhrc.jp
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30
 クラブ会報委員会
 監修：櫻井 康二
 編集長：小林 和彦
 コピーライター：小林 和彦
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：大川 久弥

会員数：36名

RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
 ODAWARA JOHOKU R.C.
 2016-2017
 WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
 ジョン・ジャーム
 【R.I. 2780地区ガバナー】
 佐野 英之
 【第9グループガバナー補佐】
 高田 喜好



【会長】辻村 彰秀
 【副会長】阿久津 馨
 【幹事】櫻井 康二
 【副幹事】荻野 善明
 【会場監督】小川 和夫

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

本日の例会：通常例会（第1967回）

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2017年2月7日 12：30～13：45
 司会：荻野 善明 副幹事

12：30	開会点鐘：辻村 彰秀 会長 国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	卓話：登山家 小西 浩文様 「生き残る技術」
13：45	閉会点鐘：辻村 彰秀 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

- 2月14日（火）臨時総会 12：30
- 2月21日（火）クラブフォーラム（国際奉仕）
本多委員長
- 2月28日（火）クラブフォーラム（社会奉仕）
須藤委員長
- 3月7日（火）通常例会 12：30
卓話：山内 英嗣様
「遠隔医療を基軸とした街作り構想」
- 3月14日（火）夜間例会（お花見例会）
- 3月21日（火）通常例会 12：30
卓話：弁護士 宇田様
「犯罪被害者支援活動について」
- 3月28日（火）通常例会 12：30
クラブ協議会（PETS報告）

■寄稿（10）

ロータリーの奉仕活動のうち、ロータリーの金看板と言われ続けた“職業奉仕”（いつときRIが、この職業奉仕という活動をロータリーの活動から4～5年消した時期があり、個人的にはアメリカ主義のRIに対しての不信感を持ちました。）ですが、この“職業奉仕”という名称については、1927年（昭和2年）に名付けられています。

この職業奉仕につきましては、さまざまな文献がありますが、そのうち6つ程あげてみます。

- ①1915年 “ロータリーの道徳律” 11ヶ条
 - ②1928年 “大連宣言” 5ヶ条
 - ③1932年 “四つのテスト”
 - ④1934年 “ロータリーの綱領”
 - ⑤1987年 “職業奉仕に関する声明”
 - ⑥1989年 “ロータリアンの職業奉仕” 8ヶ条
- などです。

職業奉仕については、文献が圧倒的に多いのです。この職業奉仕についての受けとめ方は、ロータリアン1人ひとり異なると思いますが、私は“自己改革、自分自身に対する挑戦”と考えています。ポール・ハリスは「社会に役立つ人間になる方法はいろいろあるが、最も身近で効果的な方法は間違いなく自分の職業の中にある。」と述べていますが、まことにその通りですね。

わが国では古く、伝統大師最澄（日本天台宗の開祖・767-822）の言葉に、“一隅を照らすものは、これ即ち国宝なり。”という言葉があります。これは社会の片隅を心あたたく照らす人間になれという意味ですが、まさにこの言葉の中に、職業奉仕の真髄があると思います。皆様はどう思われますか？

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2017年1月31日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶



辻村 彰秀 会長

皆さん、こんにちは！ 本日は少々寒くなりましたが、先週末から昨日まで、本当に温かく4月中旬の気候で、今日との気温差は10度近くになっており、何を着たらいいか少し悩む天候でした。皆さんには体調に十分ご注意願いたいと思っております。この暖かい天候のため、自宅の庭の紅梅、白梅もほぼ満開です。松田町の早咲き桜も、すでに5分咲き以上になり、松田山のハーブ園周辺は遠くから見てもピンク色になっています。今年の松田さくら祭りは2月11日から3月12日ですが、2月11日には、ほぼ満開になるのではないかと思っております。もし花見にいらっしゃるのでしたら、今年は早目にいらしたほうが良いと思います。是非、松田にいらしてください。

本日は、職業奉仕フォーラムです。昨年より守屋職業奉仕委員会委員長のもとで準備していただいたフォーラムです。ロータリー4大奉仕、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕のなかで、この職業奉仕がロータリーの神髄であり、ロータリーを他の団体と分かつ要素と言われております。職業上の高い倫理基準を保ち、仕事はすべて価値あるものという認識を持ち、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものとするのが職業奉仕です。

守屋委員長が今年度の活動計画書にも書かれていたように。私は、4つのテストに自分自身だけではなく、自分が行っている会社、事業自体を当てはめて考え、行動することが職業奉仕の理念にあっているのではないかと思っております。 本日のフォーラム宜しく願いいたします。

先週のクラブ協議会にて説明させていただいたクラブ細則変更案等について、2月14日の臨時総会にて決議したいと思っております。ご意見がある方はご遠慮なくお問い合わせください。

この頃、出席率が下がってきております。是非、あまり出席できていない方に、皆さんで声を掛け合って、例会出席を促すようお願いいたします。クラブ活性化のためにも、会員数40名にし、出席率を上げることが必要です。皆さん、是非、更なるご協力をお願いいたします。宜しく願いいたします。

以上、本日のご挨拶でした。ありがとうございました。

❖ 幹事報告



櫻井 康二 幹事

- 1) 年会費納入のご案内を郵送しました。納入をお願いします。
- 2) 2月7日（火）第8回定例理事会を11時より談話室にて開催いたします。理事の方は出席をお願いします。
- 3) 2月7日（火）の登山家 小西浩文 様の卓話は15分延長になり、例会終了時間は13時45分になります。宜しく願いいたします。
- 4) 2月のロータリーレートは、前月と同じ116円です。
- 5) 高田AGが先日行われましたポリオキャンペーンの街頭募金の按分金額5,964円を持って来られました。クラブで集めた32,000円と合わせて振込します。

❖ 出席報告

鈴木 啓滋 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
1月31日	36(33)	24	1	75.76%
1月24日	36(33)	26	0	78.79%
1月16日	36(32)	20	0	62.5%

【欠席者】：9名

石崎 孝、大木 清、一寸木 芳行、長田 英一、大川 裕、内山 昇、上田 博和、大野 英明、大高 英之

【今回MU】1名

石崎 孝 (1/17 大和RC)

【前回MU】増加なし

【前々回MU】増加なし

❖ クラブ協議会

「クラブフォーラム・職業奉仕」



職業奉仕委員長・守屋 善男 会員

ロータリーの職業奉仕はアーサー・フレデリック・シエルドンが提唱しロータリーが採択した、他の奉仕団体にない概念です。シエルドンの職業奉仕理念から始まり「職業宣言」「ロータリーの行動規範」と時代や状況等によって変化し今日に至っています。これほど分かったようで分かりにくいものはありません。私は『社会に奉仕することによって、地域社会から尊敬と信頼と信用を自分自身で得る』ことを考えています。自分の職業がその反射的効果として繁栄することに繋がるのではないのでしょうか。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」は、より多くの奉仕活動をすればするほど、地域の人々や社会からより多くの尊敬と信頼と信用を得ること。これが職業奉仕だと思います。創設された職業奉仕の根幹、ロータリーの行動規範ですが、2011年に8項目がRIで創設され、2014年に5項目へ修正されました。

- 1) 個人として、また事業において高潔さと倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引の全てにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接すること。
- 3) 自分の職業スキルを活かして若い人々を導き特別なニーズを与える。人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高めること。

4) ロータリーや他のロータリアンの評判を落とすような言動は避けること。

5) 事業や職業における特典を他のロータリアンに求めないこと。

以上がロータリアンの職業奉仕の理念としてロータリーの行動規範と創設されました。

「職業奉仕は難しくてなかなか理解できない」という声を聞きますが、ロータリーと他の奉仕団体との最も特徴的な違いが職業奉仕の概念です。それならば、職業奉仕を理解していないことはロータリーを理解していないことにもなります。

ただ仕事に精を出すことだと思ったり、社会奉仕と混同する会員がいる一方で、職業奉仕は判らないと言いながら立派に実践しているロータリアンも沢山いることから、職業奉仕の事が十分に理解されていない事は確かではないでしょう。

その一助として四つのテストがあります。毎例会、四つのテストを提唱していますが、ロータリアンが倫理的行動を図る上での重要な物差しとされています。四つのテストを素晴らしく説明した解説文がありましたのでご紹介しましょう。

【真実かどうか】自分は本当の意味でロータリアンか、クラブとの関わり合いでいつも誠実に行動しているか、ロータリーを通じて社会のため人のために役立ちたいと思っているか。

【みんなに公平か】共通の理想を分かち合う仲間と公平に接しているか、仲間に負担がかからぬように自分の役割を果たそうとしているか、批判する前に事情を理解しよう公平な判断をしようと努めているか、自分自身に公平か、誰に対しても同じ基準ではかっているか。

【好意と友情を深めるか】信頼関係を築く上に善意を実際の行動で示しているか、自分にはできないという言い訳を探していないか、調和と協調を保っているか、クラブで波風を立てるようなことをしていないか、クラブで仕事上の繋がりだけを求めているか、気の合った者だけで集まろうとせず全ての会員と仲良くやっているか。

【みんなのためになるかどうか】取引先・従業員・お客に対しての自分の行為がクラブのためになっているか、クラブへの義務を果たすのに自分の労力や知識指導力を活かしているか、ロータリーのために役立とう利己心を捨てようと努力しているか。

これは規則ではありませんが、職業上だけでなく人生諸般の座右の銘として活用しても良いのではないのでしょうか。日々精進し、四つのテストと共に職業奉仕の理念を再確認し、実践をまず例会から始めて努めていこうではありませんか。

今年度の活動予定案です。優良事業所職場訪問例会の実施。小田原市内で伝統的物産・工芸・地場産業に関わる工場・店舗など、素晴らしい事業年数を継続している事業所と周辺の施設・街かど博物館などを見学して、改めて小田原の歴史の深さを感じ職業奉仕をしてもらいたいと思っております。また、迎賓館・赤坂離宮・皇居一般参観を企画検討しています。

最後に会員の職業奉仕の事例報告をお二人にお願いします。

清 会員

職業奉仕はわざわざやるのではなく自然体で、自分や社員の体が空いた時に自然に皆でできたら良いと思います。平成7年に小田原市環境ボランティア協会の会長をやりました。富水の家から会社まで何回か歩いてゴミ拾いをしたけれど、一人だと何時間もかかる。海岸清掃も家内と二人でやったら埒が明かない。そこで社員に声をかけて皆で小田原城や海岸の清掃をやりました。先日、会社の新年会でも城址公園の清掃をして、社員も嫌がることなくやってくれて、他にも色々な団体が掃除しているので段々きれいになってきたようです。来年からは駅前通りや場所を広げていこうと思います。危機管理・防災DPCなどもしっかり作って、社員と家族も連携プレーで絆を大切にやっていけたら、これも社員への奉仕かなと考えています。小田原城北RCは米山や財団へ皆がお金を出して頑張っているの、自信をもって活動してください。会員数を増やす努力をしていくのも社会奉仕の一部です。頑張っていきたいと思います。

露木 会員

新年会に出席できなかったのでEクラブでメーキャップしました。その日の卓話が我がクラブの小林和彦さんでした。今年、地区の職業奉仕委員会に出向されていますが、立派な内容で相当勉強されているんだなと感心しました。Eクラブ90回目の例会ですので今からでもご覧になってみてください。機会があればうちのクラブでも卓話をお願いしたいと思います。もう一つ、クラブ会報ですが、1面の下にコラムが掲載されていて、これは我がクラブの大谷先生が毎週寄稿されています。この内容も素晴らしく、毎回楽しみにしています。例えば例会点鐘の意味。朝起きて仏様にお線香をあげておんを鳴らして挨拶する、神前では拍手を打って音を出す、音を出すことで空気を変えてエネルギーを与える、という内容でした。大谷先生の人生観や生活の哲学はロータリーの理念とオーバーラップしている部分が多いのだらうと思います。職業奉仕は難しい、分かりにくいと言われますが、普段の生活をロータリーと重ね合わせる部分が職業奉仕の価値でしょう。皆さん事業を営み、一日の多くの時間を仕事に費やしています。そこにロータリー精神や哲学が反映されていくことが一番重要で、それが職業奉仕だと考えています。私自身は伝統工芸の箱根寄木細工を祖父の代から作っています。社会奉仕に繋がる職業奉仕を心がけていて、二つは違うものという意見もありますが、私はどこかでオーバーラップするものだと思います。伝統工芸の社会は自分たちだけでなく地域全体の視点で見ないと、自分たちの発展もないのです。私は箱根物産連合会という組織の会長をやっている、色々な業種・企業・人がいて初めて成り立つと感じています。例えば道具は環境問題などに左右されるので、環境問題に取り組むことも職業奉仕に繋がります。地場産業を総合的にみると、どの業界も減少傾向ですが、そこで頑張ることが自分の役目と思っています。